

カムエク登山 (その4)

2015.7.4

達成感に満ち溢れた山頂で30分間過ごした。山頂に到着してこんなに達成感・満足感・充実感を感じたのは初めてだ。

感激



三角点



生憎の天気



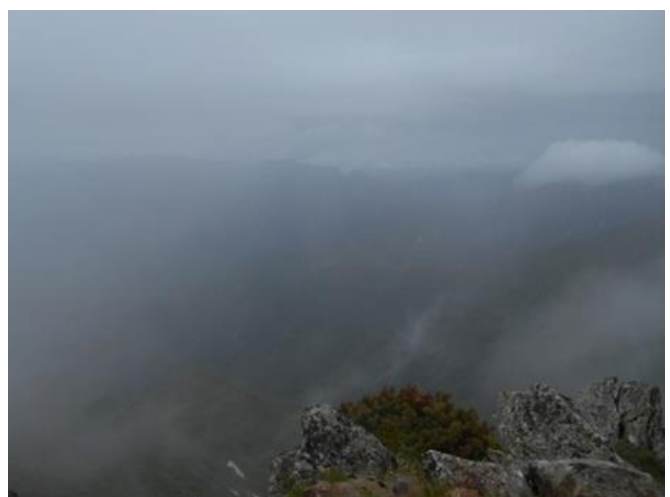
寂しい山名標



達成感



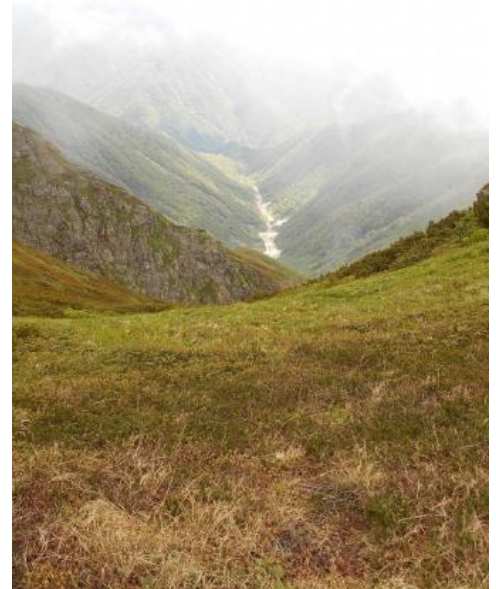
日高山脈 第2位の高峰です



日本百名山・(二つの) 信州百名山・甲信越百名山の完登達成の時以上だと感じた。生憎の天候で展望は良くないが時々部分的に展望が出来る。N氏も満足げに写真を撮ったり、展望を楽しんでいる。彼は次に登るペテガリ岳・神威岳が気になるようだが、私は登山予定の幌尻岳が気になった。

斜度のある雪渓です

八の沢を見下ろす



歩いてきた八の沢ルートがクッキリ見下ろせる。展望が悪いのが本当に残念だが仕方が無い、もっとユックリしたいが、下山時も雪渓の下降等に手こずりそうなので下山開始。八の沢カールで又慰霊碑を探すが見当たらない。

軽アイゼンを装着して急な雪渓を下る、ストックを左手に持ち替えようとした時に足が滑ってしまい滑落する。長い雪渓なので、ヤバイ！と思ったが止まらない。幸いな事に10Mほど滑った地点に幅1.5Mほどのクレパスがありそこに足から落下する。雪渓の端だったので、川底まで1Mほどと浅かったのと、落ち方も良くて、左あばら骨を少し打った感じがしただけで無事。一安心する。N氏が慌てて来て「大丈夫か?」「大丈夫と応答する」雪渓をより慎重に下るが、普通に歩けるし、あばら骨の痛みも軽いので助かった。

傾斜が緩くなりました



沢靴をデポした場所で沢靴に履き替えて下山を続行。三俣から下部は雪溪上に沢山流木が横たわっていて本当に歩きづらいし、疲れる。12時間以上かかってようやく八の沢のテント場に帰着

する。足腰が弱ってきたし、疲れた感じがする。テント場には単独の2組がテントを張っていた、明日登る今季2番手組だ。私は又オショロコマ釣りをする。隣のテントの人に渡す、彼は焼いて「美味しい！」と喜んで食べた。(彼からはお礼のメールがその後到着したが、翌日登ったが滝の高巻でルートが分らず引き返したとの事。強引にヤブコギして山頂にたどり着いたもう一人の単独行の下山を待つてルートを聞いて翌日また登ったようだ) N氏は彼らにルート等教えていた。(彼は世話好きだし) 今回は少しでも荷物を軽くしようとガスボンベの小型を持参したが、1日で使い切ってしまう不便だった。今回酒も軽量化の為に缶ビール 350CC 1本と「またたび酒」少々のみ、昨日は我慢して飲まなかった缶ビールで登頂祝して早く寝る。

赤沼健治